



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

平成19年8月9日

上場会社名 株式会社 藤商事 上場取引所 JASDAQ
 コード番号 6257 URL <http://www.fujimarukun.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名）松元 邦夫 TEL (06) 6949-0323
 問合せ先責任者（役職名） 上席執行役員管理本部長（氏名）桜井 健一

（百万円未満切捨て）

1. 平成20年3月期第1四半期の業績（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

(1) 経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	5,843	—	677	—	719	—	410	—
19年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
19年3月期	39,404	—	7,071	—	7,148	—	4,302	—

	1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	1,610	55	—	—
19年3月期第1四半期	—	—	—	—
19年3月期	19,382	02	—	—

（注）当第1四半期は「第1四半期財務・業績の概況」を初めて開示するため、前年同四半期数値および対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年3月期第1四半期	42,891	—	36,837	—	85.9	—	144,487	44
19年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
19年3月期	44,571	—	37,472	—	84.1	—	146,975	00

（注）当第1四半期は「第1四半期財務・業績の概況」を初めて開示するため、前年同四半期数値は記載しておりません。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第1四半期	653	—	△316	—	△868	—	22,314	—
19年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
19年3月期	1,245	—	△3,356	—	5,582	—	22,845	—

（注）当第1四半期は「第1四半期財務・業績の概況」を初めて開示するため、前年同四半期数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
19年3月期	—	—	4,000	00	4,000	00
20年3月期(予想)	1,750	00	2,250	00	4,000	00

- (注) 1. 平成19年3月期期末配当金には、上場記念配当500円00銭が含まれております。
 2. 平成20年3月期期末配当金には、特別配当500円00銭が含まれております。

3. 平成20年3月期の業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	15,700	△14.0	2,080	△33.3	2,130	△33.0	1,150	△39.6	4,510	60
通期	50,800	28.9	7,750	9.6	7,840	9.7	4,600	6.9	18,042	40

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成19年4月1日から平成19年6月30日まで）は、パチンコ・パチスロファンの裾野拡大のため、メーカーサイドでは手軽に遊べる遊技機（いわゆる「あまデジ」スペックなど）のさらなる充実、ホールサイドとしては低価格での玉貸営業の試みなど、業界全体として、パチンコ・パチスロ市場の活性化への取組みを、引き続き推進してまいりました。

しかしながら、平成18年のパチンコ参加人口は前年比50万人減少の1,660万人（（財）社会経済生産性本部「レジャー白書」）となるなど、参加人口の回復には至っておりません。

当社では、このようなパチンコホール市場を取り巻く厳しい環境をふまえ、年齢・性別を問わず、幅広いファン層に対応した遊技機スペックの充実とゲーム性の追求により、販売台数の増加に努めております。

パチンコ遊技機事業では、当社オリジナルキャラクターを採用し、あまデジスペックも備えることでライトユーザーにも対応した「CRかっぱ伝説」シリーズ、ジャッキー・チェン氏主演映画とのタイアップ機種「CRプロジェクトA」などを発売いたしました。

この結果、当第1四半期のパチンコ遊技機事業の業績は、販売台数27千台、売上高54億92百万円となりました。

パチスロ遊技機事業では、新規則対応機の入替需要を見込み、新筐体「イルミネーション・フォース」を採用し、カンフー映画のバイオニヤ的存在であるブルース・リー氏をモチーフとした「パチスロブルース・リー」を発売しましたが、競合他社からも多数の新機種が発売されるなか、厳しい商戦となりました。

この結果、当第1四半期のパチスロ遊技機事業の業績は、販売台数1千台、売上高3億51百万円となりました。

以上により、当第1四半期の業績は、売上高58億43百万円、営業利益6億77百万円、経常利益7億19百万円、四半期純利益4億10百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、前事業年度末に比べ16億79百万円減少し428億91百万円となりました。これは主に新規版権取得などによる長期前払費用の増加9億7百万円、売上債権の減少21億92百万円および現金及び預金の減少5億31百万円などによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ10億45百万円減少し60億54百万円となりました。これは主に法人税等の支払いにより未払法人税等が減少したことなどでありあります。

純資産は、前事業年度末に比べ6億34百万円減少し368億37百万円となりました。これは主に利益剰余金が減少したことなどでありあります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ5億31百万円減少し223億14百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は6億53百万円となりました。これは主に税引前四半期純利益7億42百万円、売上債権の減少21億92百万円などが増加の要因であり、長期前払費用の増加9億20百万円、法人税等の支払10億13百万円などが減少の要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3億16百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は8億68百万円となりました。これは配当金の支払によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期の業績予想につきましては、平成19年5月14日発表の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正（「所得税法等の一部を改正する法律（平成19年3月30日法律第6号）」および「法人税法施行令の一部を改正する政令（平成19年3月30日政令第83号）」）に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産の減価償却費については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成19年3月期
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	—	22,314,434	—	—	22,845,881
2. 受取手形	—	1,550,256	—	—	3,038,336
3. 売掛金	—	2,588,309	—	—	3,293,106
4. たな卸資産	—	1,769,014	—	—	1,781,801
5. 繰延税金資産	—	218,920	—	—	269,128
6. その他	—	1,080,426	—	—	878,849
貸倒引当金	—	△13,300	—	—	△20,100
流動資産合計	—	29,508,061	—	—	32,087,003
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物	—	2,672,125	—	—	2,650,803
(2) 機械及び装置	—	533,968	—	—	554,193
(3) 工具器具備品	—	1,511,245	—	—	1,509,722
(4) 土地	—	4,363,332	—	—	4,363,332
(5) その他	—	146,712	—	—	160,989
有形固定資産合計	—	9,227,384	—	—	9,239,041
2. 無形固定資産	—	225,764	—	—	242,621
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	—	276,933	—	—	318,551
(2) 長期前払費用	—	2,954,440	—	—	2,047,230
(3) 繰延税金資産	—	399,654	—	—	341,930
(4) その他	—	339,330	—	—	344,312
貸倒引当金	—	△39,687	—	—	△49,311
投資その他の資産合計	—	3,930,670	—	—	3,002,713
固定資産合計	—	13,383,819	—	—	12,484,376
資産合計	—	42,891,881	—	—	44,571,379

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成19年3月期
	金額(千円)	金額(千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 買掛金	—	3,024,739	—	—	3,451,821
2. 未払金	—	812,905	—	—	802,133
3. 未払法人税等	—	327,709	—	—	1,063,390
4. 賞与引当金	—	174,062	—	—	298,411
5. その他	—	587,483	—	—	420,013
流動負債合計	—	4,926,901	—	—	6,035,769
II 固定負債					
1. 退職給付引当金	—	417,371	—	—	369,852
2. 役員退職慰労引当金	—	652,952	—	—	636,884
3. その他	—	56,862	—	—	56,862
固定負債合計	—	1,127,185	—	—	1,063,598
負債合計	—	6,054,086	—	—	7,099,368
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	—	3,281,076	—	—	3,281,076
2. 資本剰余金	—	3,258,458	—	—	3,258,458
3. 利益剰余金					
(1) 利益準備金	—	14,950	—	—	14,950
(2) その他利益剰余金	—	30,217,411	—	—	30,826,615
利益剰余金合計	—	30,232,361	—	—	30,841,565
株主資本合計	—	36,771,896	—	—	37,381,099
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価 差額金	—	65,898	—	—	90,911
評価・換算差額等合計	—	65,898	—	—	90,911
純資産合計	—	36,837,795	—	—	37,472,011
負債、純資産合計	—	42,891,881	—	—	44,571,379

(2) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成19年3月期
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
I 売上高	—	5,843,937	—	—	39,404,689
II 売上原価	—	2,740,675	—	—	20,832,587
売上総利益	—	3,103,262	—	—	18,572,101
III 販売費及び一般管理費	—	2,425,565	—	—	11,500,169
営業利益	—	677,696	—	—	7,071,931
IV 営業外収益	—	47,636	—	—	136,717
V 営業外費用	—	6,082	—	—	60,309
経常利益	—	719,250	—	—	7,148,339
VI 特別利益	—	26,444	—	—	94,352
VII 特別損失	—	3,056	—	—	102,277
税引前四半期 (当期) 純利益	—	742,638	—	—	7,140,414
税金費用	—	332,022	—	—	2,837,917
四半期 (当期) 純利益	—	410,616	—	—	4,302,497

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考) 平成19年3月期
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	—	742,638	7,140,414
減価償却費	—	352,224	1,242,362
貸倒引当金の増減額	—	△16,423	△20,849
賞与引当金の増減額	—	△124,348	△38,778
役員賞与引当金の増減額	—	△160,000	160,000
退職給付引当金の増減額	—	47,518	66,347
役員退職慰労引当金の増減額	—	16,068	63,926
受取利息及び受取配当金	—	△4,315	△8,706
固定資産売却益	—	△774	△4,516
ゴルフ会員権売却益	—	△5,317	—
投資有価証券売却益	—	—	△32,223
固定資産売却損	—	—	2,439
固定資産除却損	—	3,056	99,837
売上債権の増減額	—	2,192,877	2,903,974
たな卸資産の増減額	—	12,786	911,131
長期前払費用の増減額	—	△920,219	△934,910
仕入債務の増減額	—	△427,081	△4,241,825
未払金の増減額	—	△140,748	△135,217
未払消費税等の増減額	—	14,966	△405,477
役員賞与の支払額	—	—	△220,000
その他	—	80,120	△672,662
小計	—	1,663,028	5,875,266
利息及び配当金の受取額	—	3,807	8,495
法人税等の支払額	—	△1,013,248	△4,638,391
営業活動によるキャッシュ・フロー	—	653,588	1,245,370

	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考) 平成19年3月期
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー			
投資有価証券の売却による収入	—	—	47,223
有形固定資産の取得による支出	—	△314,493	△3,295,448
有形固定資産の売却による収入	—	1,436	14,855
無形固定資産の取得による支出	—	△3,915	△69,796
投資その他の資産の取得による支出	—	△16,671	△187,440
投資その他の資産の回収による収入	—	16,909	134,075
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	△316,734	△3,356,531
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー			
株式発行による収入	—	—	6,449,734
配当金の支払額	—	△868,299	△867,344
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△868,299	5,582,390
Ⅳ 現金及び現金同等物の増減額	—	△531,446	3,471,229
Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高	—	22,845,881	19,374,651
Ⅵ 現金及び現金同等物の期末残高	—	22,314,434	22,845,881